

子どもも教員も『ともに学ぶ！』淳城南小の校内研究

淳城南小学校では個を大事にしながら、ともに学ぶ楽しさを味わわせることができる（南小スタイルの）授業づくりについて研究を進めています。今号では授業と子どもの学び方について、全教職員で短い改善サイクルを回していく「校内研究」の取組について紹介します。

【研究主題】

ともに学ぶ楽しさを味わう児童の育成

～「分かった」「できた」を実感する算数の授業づくりの工夫を通して～

【目指す子どもの姿】

「みんなで分かる楽しさ」と「自分もできる喜び」を獲得することで、主体的に学ぶ意欲と態度を身に付け、「ともに学ぶ楽しさ」を味わうことができる子ども

本校の児童の実態に合わせ、今年度、研究主題を変えました。研究教科を算数科に絞り、ねらいを達成するための逆算思考の授業づくりに重点を置いて研究を進めます。若い先生方も増え、児童の実態に寄り添った授業づくりの基本について研究を進めていきたいです。「研修部報」を発行し、**研究の月別重点目標**について確認したり、授業づくりのポイントや授業研究会に向けての心構え等を伝えたりするなど、実りある研究となるように心掛けています。

私たち教員の授業力向上を通して『南っ子』がより良く変わっていただけるように職員同士も切磋琢磨したいと考えています。



研究主任
藤田教諭

「短い改善サイクル」を回し、子どもの「学ぶ力」を高める

□ 月別重点目標を意識した授業づくり【教員の改善サイクル】

6月：「ねらいを達成するための効果的な学び合い」をするための「自分の考えをもつ」時間の使い方

□ 子どもが学び方を身に付けていく取組【子どもの改善サイクル】

子どもに身に付けさせたい学び方について職員会議で協議し、月別の目標を子どもと確認する。

6月：「話し合いの仕方を身に付け、進んで発表しよう」

□ 授業研究会・自主公開授業の実施（主に若手教員に向けて）

互いに授業を見合うことで校内研究の方向性について確認を行う。

□ アンケートの実施（児童・教師）

学習アンケート（6月・12月）を実施し、検証を行い、成果を確認する。

□ 単元評価問題（県の確認テスト）の活用

つまづきの把握・改善、学んだ内容の定着を確認するために行い、算数・理科・社会の単元評価問題を演習問題や家庭学習として活用する。当該学年分だけでなく、関連する前学年の評価問題を扱う。



【学び合いの様子】



【自主公開授業の様子】



子どもと教員が、学び方の**月別目標を共有し**、それぞれ**目標を意識しながら過ごすことで「学び方」のレベルアップ**につながっています。授業の中では、「ともに学ぶ場面」が多く設定されています。友だちの意見を自分の考えと比べながら聞くことを意識した指導が繰り返されており、「なるほど」「付け足します」と反応し、自分の考えを表現し合うことで、学びが深まっています。

（学校全体で「ともに学ぶ楽しさ」を味わう授業を目指しています!）



山田指導教諭